

## 経営者報酬と企業パフォーマンスに関するサーベイ

坂 和 秀 晃  
渡 辺 直 樹

### 目 次

- |                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. はじめに                      | 3. インセンティブ報酬についての先行研究 |
| 2. 経営者報酬と企業パフォーマンスの関係についての概論 | 4. エージェンシー問題についての先行研究 |
|                              | 5. 結論                 |

本稿では、経営者報酬と企業パフォーマンスの関係について国内外の実証研究を中心にサーベイを行い、今後の研究可能性について概観する。まず、インセンティブ報酬としての経営者報酬を検証した先行研究を紹介する。次に、経営者報酬設計におけるエージェンシー問題の可能性と発生とその影響についての先行研究を紹介する。最後に、経営者報酬と企業パフォーマンスに関する今後の研究可能性を論じ結びとする。

### 1. はじめに

近年、コーポレートガバナンスの強化が世界各国で取り組まれている。エンロンの破綻や昨今のリーマンショックなど、コーポレートガバナンスに関して高い評価を受けた米国ですら、多くの問題を抱えていると指摘されている。わが国においても、バブル経済の崩壊以降、コーポレートガバ

ナンス改革を進めるため、多くの制度改正がなされた。近年では、個別経営者報酬の開示の是非をめぐる議論が盛んになるなど、日本においても経営者報酬のあり方について関心をもたれるようになった。本稿では、経営者報酬に関するさまざまな議論を紹介し、今後の課題をまとめることとする。

本稿の課題は、海外の経営者報酬と日本の経営



坂和 秀晃（さかわ ひであき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科講師。2008年大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。主な学術雑誌に『Relationship between Managerial Compensation and Business Performance in Japan : New Evidence Using Micro Data』（共著、Asian Economic Journal）がある。



渡辺 直樹（わたなべ なおき）

東洋大学経営学部助教。2008年大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程単位取得退学。主な学術雑誌に『経営者報酬と取締役会の経営監視機能についての検証』（共著、金融経済研究）がある。